

講社鎮座祭祭文

これの新床に只今嚴かにお鎮り下さいました　くにとこたちのみこと　をもたりのみこと　くにさづちのみこと　月よみのみこと　くもよみのみこと　かしこねのみこと　たいしよく天のみこと　をふとのべのみこと　いぎなぎのみこと　いぎなみのみことなる親神天理王命の御前に慎んで申し上げます

人間の陽気ぐらしをひたすらにお望み下さる親神様には日夜み心の限りをつくして子供の成人を促され且つお育て下さいます思召の程　まことに感謝に堪えません　この　家の人々も早くから奇しきお手引きを頂いてその思召を聞き御教えの理を心に治めて日々喜び勇んで御恩報じの道に　お連れ通り頂いております御慈悲の程　思えば誠に勿体なく有難い次第でございます

就きましては　この　都　区

なる家屋を

様が購入されました喜びの機会に

分教会長なる

母上とも談じ合いを重ねてこの奥床に親神様をお祀り申し上げ　朝夕に親しくお仕えさせて頂きたいと　今日の上き日にお鎮めの御祭をとり行わせて頂きました　御前には心尽くしの品々を供えて玉串の取々に御礼申し上げます　状を何卒御心安らかにお受け取り下さいまして　今より後は今日の意義深い悦びを忘れることなく　常に教祖のおひながたを心に湛えて一段と思召に添わせて頂けるよう　日々理の御用にも勇んでつとめ切らせて頂く所存でございます

何卒願う心の真実に尚も自由のご守護を賜り　家人達の心の成人は申すまでもなく　講社を通じてなされるたすけ一条のこのお道もいよいよ高く伸び栄えますよう　お導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます